

ベトナム最新情報

2019年5月28日（火）

— 通巻4603号 —

目次

○ 政治・経済

- = ホンダベトナムのシェアが77%、256万台のバイクを昨年販売
- = 太陽光発電所が増加、今年後半の電力供給は安定
- = イスラム諸国への輸出、ベトナム製品に商機あり
- = ベトナムのゴムラテックス価格、世界価格に伴い上昇

○ 日本・日系企業関連情報

- = パナソニック、中国 Huawei 社への部品納入などを停止

○ 社会・文化・トレンド

- = ダナン国際花火大会、今年は6月1日～7月7日に開催

○ 税務・法律

- = ベトナムのイメージ損なう行為に罰則、観光業界に対して

○ 統計情報

- = 年初5か月の外国投資誘致が過去最高に

○ 一口ニュース（2件）

- 為替・証券市場動向
- 入札情報

○ 事件・出来事

- = ニャチャンのバス会社でストライキ、運行停止が多発

○ コラム

- = オーガニック野菜農家を支援する日本の NGO

******* 政治・経済 *********ホンダベトナムのシェアが77%、256万台のバイクを昨年販売**

Honda Vietnam (HVN) は、2018年度(2018年4月～2019年3月)の会計年度に256万台のバイク各種を販売し、全国のバイク市場の77%近くを占め、過去最高となる販売数を達成した。

HVNはまた、新たに34モデルを発売し、正規代理店21店舗を追加で開設し、バイクの輸出額は3億6,800万ドル相当に達した。

Honda Vietnamが製造するバイクは、部品の97.4%が現地調達されており、2019年度はベトナム国内で18の新モデルを発売し、売上を更に安定させる方針。

自動車部門では、2018年度に3万2,218台を販売し、前年同期比150%増という記録的な営業成績をあげた。

(Thanh Nien 5月25日,P.6)

太陽光発電所が増加、今年後半の電力供給は安定

国家電力システム制御センターNguyen Duc Ninh 副所長は、ベトナム全国の全力供給は太陽光発電所の稼働によって、さらに安定すると述べた。

2019年4月までに、新たに4か所の太陽光発電所が稼働し、5月中旬までに更に27か所が稼働を開始する。そして、6月末までに88か所の発電所が新たに稼働する予定となっている。

エネルギー供給状況について、ベトナム電力公社(EVN)は、2019年年初4か月の発電量は743億5,000万kWhに上り、年間目標よりも6億2,800万kWh多く、前年同期比で11%の増加となった。

2019年5月から6月までに、発電量は428億kWhに達すると見込まれており、前年同期比で10%の増加となる。また、最大容量は3万7,000～3万9,000MWとなり、前年同期比で11～14%増加する見込みである。

一方、エルニーニョ現象の影響で、中部Tay Nguyen地方の水力発電所は5月と6月の貯水量減少により、前年よりも発電量は低くなると予想されている。

しかし、EVNのNgo Son Hai 副社長は、乾季の間でも電力供給は十分に保証できたとし、今回の太陽光発電所増加もあり、2019年下半期は電力供給面において経済に悪影響を及ぼすことはないだろうと自信を見せた。

(Sai Gon Giai Phong 5月21日,P.4)

イスラム諸国への輸出、ベトナム製品に商機あり

イスラム教の国々や、ネパール、北朝鮮などは、ベトナム企業にはまだまだ馴染みが薄

いが、これらは輸出市場の多様化から、将来は期待できる国々で見込まれている。

■ハラール認証の取得

ホーチミン市 Tan Binh 区にあるハラール認証事務局によると、すでに数百のベトナム企業が事務局の各支部を訪ねてトレーニングを受け、ハラール認証（イスラム法に則り製造された商品であることを示す認証）を取得している。

ハラール認証を取得したベトナムの大手企業には、Orion Vina、Vinamilk、Nestle Vietnam、Cai Lan 植物油、Tuong An 植物油、Tien Giang 食糧、FrieslandCampina Vietnam、FrieslandCampina Ha Nam などがあるが、イスラム教の国々で問題の出にくい水産品が特に多く、Minh Phu 水産、An Phu 水産、Hung Ca といった企業が取得している。

同事務局のマーケティング部門責任者 Nguyen Thi Ngoc Hang 氏によると、潤沢な農・水産原料を持つベトナムは、ハラール市場を開拓する大きなアドバンテージがあるという。

「豚肉、犬肉の不使用、添加物を極力使用しないといった原料を確保すればハラール認証取得に有利です。特に、未加工品はハラール認証を得やすいのです。従業員にハラール認証のトレーニングを行い、食品の安全性を確保できれば、ベトナムは輸出市場を多様化する大きなチャンスがあります」と Hang 氏は話す。

5月22日に開かれた、マレーシアおよびイスラム諸国市場への輸出セミナーで、Halal International Selangor の代表者 Zukarine Shah Zainal Abidin 氏は、ハラール認証は一般的な認証より取得が難しいが「長期的な輸出を考えた場合には、ハラール認証を取得することを勧めている」と言う。

同氏によると、市場の潜在力は非常に大きいものの、ハラール産業先進国と比較して、イスラム市場に輸出されているベトナム製品は、現時点では微々たるものだという。

世界のハラール市場は2030年までに30兆6,000億ドルに拡大すると予想されており、うちアジア・太平洋地域のみで1兆1,000億ドル、マレーシアだけで2,285億ドル程度が見込まれている。

イスラム人口は2010年の15億人から、2050年には27億人に増加すると予想されており、イスラム教国の中で最も需要が大きいのはインドネシアとされている。

■ネパール、北朝鮮市場

このところ商工業省が輸出を促進すべき市場として盛んに広報しているのがネパールだ。

同省によると、ベトナムとネパールは1975年に外交関係を樹立しているものの、2018年の二国間貿易額は2,670万ドル、うちベトナムからの輸出は2,640万ドルで、主な輸出品は携帯電話・部品、コンピュータ・電子機器・部品、農産品。ネパールはいま発展途上にあり消費が伸びていることから輸出の余地はまだ大きい。

北朝鮮にも少なくないベトナム企業が輸出している。今から5～7年前にはすでに、北朝

鮮では、ベトナム製の台所洗剤や石鹼、洗濯用の液体洗剤、シャンプー、ジュースなどを利用していた。当時は段ボール数ケースの商いだったが現在は、化粧品・トイレタリー用品や消費財をひと月にコンテナ数本輸出している企業もある。

清涼飲料メーカー Bidrico が初めて北朝鮮に輸出したのはもうかなり前で、はじめは数量が少なく、“お試し”程度だったが、徐々に輸出が伸びたという。

化粧品・トイレタリー用品の My Hao も、参入当初は厳しい競争にさらされたが今は一定のシェアを確保した。

各社によると、北朝鮮はかなり緩い市場であり、ベトナムの良質製品であれば十分に競争力があるという。ベトナムカシューナッツ協会 (Vinacas) の Dang Hoang Giang 副会長も、北朝鮮は協会として研究し、企業のアプローチを支援している潜在力のある新しい市場の一つだと論評している。

(Nguoi Lao Dong 5 月 23 日, P.11)

ベトナムのゴムラテックス価格、世界価格に伴い上昇

商工業省によると、国内のゴムラテックス価格は、世界の価格傾向に伴い上昇している。

具体的には 2019 年 5 月半ばの 10 日間で、Binh Phuoc 省、Binh Duong 省、Tay Ninh 省のゴムラテックスの原料価格は、世界市場の価格が高くなる傾向に伴って上昇した。

5 月 17 日時点までに、Loc Ninh ゴム社は 5 月に 2 回に渡りラテックスゴムの価格を引き上げている。

年初から 2019 年 5 月 15 日までに輸出されたゴムの量は 44 万 6,310 万トン、輸出額は 6 億 216 万ドルに達し、前年同期比、数量で 17.6%、金額で 8.3% の増加となった。

2019 年 5 月前半 15 日間のゴムの平均輸出価格は、1 トンあたり 1,448 ドルで、4 月後半の 15 日間と比べ 0.4% 減少したが、前年同期比では 1.1% 上昇した。

(Cafef.vn 5 月 27 日)

***** 日本・日系企業関連情報 *****

パナソニック、中国 Huawei 社への部品納入などを停止

日本の大手エレクトロニクス企業のパナソニックは 5 月 23 日、アメリカが Huawei 社を規制リストに載せた後、この中国企業への部品の提供を停止すると発表した。

大阪に本社を持つパナソニックは声明の中で、「アメリカの禁止令に従って、Huawei 社および同社の 68 支店との取引を中止することを従業員に知らせました」と明記している。

パナソニックの広報は、どの種類の部品が Huawei への提供を停止したかについては公表を避けたが、この決定による事業利益の影響はほとんど無いことを強調した。

パナソニックをはじめとする多くの日本企業は、Huawei に携帯電話の製造部品を提供している。これらはアメリカの商務省から先週出された規制で提供が禁止された対象に含まれている部品だ。

パナソニックは、同社の他の製品がアメリカの制裁措置の影響を受けているかどうかについて、引き続き評価を続けると述べた。

この大統領令では、アメリカの技術を使った製品、またはアメリカの原料や技術によって 25%以上の価値を有する海外生産品は全て、Huawei などの一部中国企業への納入が禁止され、禁止令に違反した企業には罰則が科される。

これより少し前の 5 月 19 日、アメリカを代表するコンピューターチップなどを生産する Intel 社、クワルコム (Qualcomm) 社、グーグルなども、中国の Huawei グループへの部品や重要ソフトの提供を中止すると発表していた。

ロイターは 5 月 20 日、グーグルが Huawei への一部サービスの協力を停止したと報じた。大手検索企業グーグルは Huawei に対し、グーグルに関連する全てのハードウェアとソフトウェア製品を引き渡すよう要求した。

その後まもなく Intel、クワルコム、ザイリンクス (Xilinx) の各社もアメリカ政府の命令に従って、Huawei 社への部品、技術提供を中止すると発表している。

ドイツのチップメーカーであるインフィニオン・テクノロジーズ社もこの中国企業への出荷を止めた。

5 月 22 日、BBC のウェブサイトは、チップの設計を専門としイギリスに本社を置く ARM 社が、Huawei 社との取引停止について社内で発表をしたことを報じた。

中国 Huawei 社が、ARM の取引停止発表により、厳しい状況となることは確実だという。

(Bao Tin Tuc Online 5 月 23 日)

***** 社会・文化・トレンド *****

ダナン国際花火大会、今年は 6 月 1 日～7 月 7 日に開催

「ダナン国際花火フェスティバル 2019」(DIFF 2019) は、Han 川からインスピレーションを得て、今年は「物語を語る川」をテーマに、6 月 1 日～7 月 7 日まで 1 か月以上に渡り開催される。

今年の DIFF 2019 に参加し、花火を披露する 8 チームは、昨年の DIFF2018 で優勝したイタリアチーム、ベトナムのホームチームの他、ロシア、ブラジル、ベルギー、フィンランド、イギリス、中国の 6 か国のチームが新たに参加する。

各チームが披露する花火は、花火の明かりと音楽によって、川の畔の住民の生活とともに各国の川や歴史や文化を表現する。

ダナン市が「世界の花火都市」の 1 つになることを目指し、DIFF2019 は今年の夏、ダ

ナン市民に驚きと興味深い体験を提供する。

決勝は7月6日に行われる予定で、予選を勝ち残った2チームがダナンの夜空を彩り競い合う。

(Vov.vn 5月24日)

***** 税務・法律 *****

ベトナムのイメージ損なう行為に罰則、観光業界に対して

政府が公告した、観光分野の行政違反について定めた政令 45/2019/ND-CP 号 (8月1日発効) によると、ベトナム国家のイメージや民族文化の伝統を毀損する行為をした観光客に対して、最高500万ドン (約2万5,000円) の罰金を科すと定めている。

この分野での行政違反について、個人に対する罰金は最高5,000万ドン (約25万円)、組織は1億ドン (約50万円) となる。

ベトナム国家のイメージや民族文化の伝統を毀損する行為をした観光客は300万~500万ドン (約1万5,000円~2万5,000円) の罰金、旅行者の奪い合いや観光客に対する商品・サービスの押し売り、観光客の待遇の差別、所管機関に報告を適切にしない行為に対して100万~300万ドン (約5,000~1万5,000円) の罰金を定めた。

罰金のほかに、違反の性質や度合いに応じて違反者は、旅行サービス事業ライセンスの剥奪や1~24か月の旅行ガイド証の没収、1~6か月の活動停止、違反品の没収などの処罰が併せて講じられる可能性がある。

このほか、違法に得た利益の返納や国際旅行サービス事業ライセンスの取り消し、観光客サービス基準認定表札の取り外し、各種料金の納付などの措置を命じられる可能性もある。

(Phap Luat 5月24日,P.14)

***** 統計情報 *****

年初5か月の外国投資誘致が過去最高に

計画投資省外国投資局の発表によると、2019年年初5か月の外国直接投資 (FDI) 誘致は過去4年で最高額に達している。

2019年5月20日時点で、外国投資家の新規投資と追加投資、出資/株式取得の総額は167億4,000万ドルで前年同期比69.1%増、FDI実行額は73億ドルで7.8%増となった。

投資登録証明書の新規発給は1,363件で登録投資総額64億6,000万ドル、投資調整は505件で26億3,000万ドルと前年同期比5.5%増、外国投資家による出資・株式取得は3,160

件で 76 億 5,000 万ドルと前年同期比 2.8 倍だった。

FDI 誘致は 19 分野で行われ、製造業が 120 億ドルと全体の 71.8%を占め最多となり、次に不動産 11 億 4,000 万ドル、卸売・小売 8 億 6,400 万ドルが続いた。

今年はいくまでに 88 か国・地域から投資があり、うち香港が 50 億 8,000 万ドル（全体の 30.4%）で最も多かった。これに韓国 26 億 2,000 万ドル、シンガポール 20 億 9,000 万ドルが続く。

投資先ではハノイが 47 億 9,000 万ドルと全体の 28.6%を占め最多となり、ホーチミン市は 27 億 8,000 万ドル、Binh Duong 省が 12 億 5,000 万ドルとなっている。

(Zing 5 月 24 日)

***** 一口ニュース *****

インド貿易救済総局は、日本、ベトナム、中国、韓国、台湾から輸入されるデジタルオフセットプリント用のプレート製品に対し、5 月 16 日から反ダンピング措置を適用すると発表した。

(Cafef 5 月 25 日)

政府は各省・市の 2018 年行政改革指数を公表し、中央直轄省市の行政改革は 80%に達した。各省市別の改革指数は Quang Ninh 省が 1 位で、続いて Hanoi 市、Dong Thap 省、Da Nang 市、Hai Phong 市などの行政改革が評価された。

(Dau Tu 5 月 27 日,P.2)

為替・証券市場動向	
為替相場	キャッシュ 23,450 ドン/USD <国家銀行中心レート 23,059 ドン/USD> (5 月 28 日 14 時 40 分・Vietcombank)
株価指数	VN-Index 978.43 (△3.29/0.34%) VN 30 890.94 (△1.74/0.20%) (5 月 28 日後場終値・ホーチミン市証券取引所)

******* 入札情報 *******

**【施工・調達】 Bac Ninh 省 Yen Phong 県 TL.286 通り改善・改修（第 1 期）
（Dong Yen - Cho 村区間）**

（Bac Ninh 省人民委員会承認 2019 年 5 月 15 日付文書 1645/UBND-XDCB 号）

パッケージ名	パッケージ価格	資金源	請負業者 選択方法	請負業者 選択期間	契約 形式	契約実施 期間
施工、工事の保険 の調達	947 億 2,766 万ドン	県予算 等	国内公募 入札	2019 年 第 2 四半期	総価式 固定 単価式	540 日

投資主：Bac Ninh 省交通建設プロジェクト管理委員会
（電子入札システム 5 月 17 日）

******* 事件・出来事 *******

ニャチャンのバス会社でストライキ、運行停止が多発

5 月 16 日から、株式会社 Quyet Thang Nha Trang のバスドライバーたちが、一斉にストライキを行い、会社に給料の支払いと、社会保険費の支払いを要求している。

バスのドライバーたちは、チケット販売員と共に、Ho Tieu 通りの本社前に集まっており、いつも町を走っているバスは、駐車場に停まったままだ。乗客はもちろん、荷物を送ったり受け取ったりするためにここに来た人たちも、仕方なく引き返していく。

バスドライバーの To Thanh Qua さん（41 歳）は、これまで毎月 5 日だった給料日が、最近では遅れがちで、今月はまだ支払われていないという。

「ここで働いてもう 3 年目になります。祝日やテトに出勤しても、特別な手当ではつかないのに、平日に 1 日仕事を休むだけで 200 万ドン（1 万円）が給料から引かれるというのは酷い話だよ」と、Qua さんは渋い顔で話した。

仕事をしても、契約書にサインをしてもらえず、社会保険にも入れないと訴える人もいる。

「もう 2 か月も給料が出てないんだ。我々の権利を主張するために、一斉ストライキをしています。本意ではないですが、これでは暮らせないので、仕方がないですよ」と、別のドライバーが言った。

ニャチャン — Van Gia (Van Ninh 県) 間、ニャチャン — Ninh Tay 間、ニャチャン —

Doc Let (Ninh Hoa) 間、ニャチャン — Tuy Hoa (Phu Yen) 間のエリアでは、何時間も来ないバスを待つ人々の姿が多く見られている。

観光業に従事する Nguyen Thi Thanh さんは、2 時間以上待っても来ないそのバスで、家から約 60km 離れた職場へ出勤しなくてはならないのだと話す。

「80 万ドンちょっと (4 千円) で、1 か月の定期券を買ってるんです。もしバスが止まるなら、バス会社にはきちんと伝えてもらいたいです。そうすれば、別の出勤方法を考えるんですけどね」と Thanh さんは話した。

同じ日の午後、労働傷病兵社会福利省、交通運輸省、Khanh Hoa 省労働組合が間に入り、会社とバスドライバーや事務員たちとの対話の機会を設けた。

組合によると、その後、労働契約をきちんと結んでいない、社会保険に加入していない、給料の支払いが遅れる、従業員に休暇を認めない、といった実態を会社側が認めたという。

結局、ドライバーたちの訴えが正しく、止むを得ずにストライキを起こしていたことが証明された。

その他にも、会社は特別な理由なしに一方的に労働契約を解除したり、罰金や減給という規定に反する行為が日常的に行われていた。

Quyêt Thang Nha Trang 社の副社長 Dao Thi Ngoc Quynh 氏は、「ドライバーたちの一斉ストライキが、バスの運行に影響を及ぼしており、バスドライバーやスタッフたちと、意見を交換して事態を解決していくつもりです」と話している。

(VnExpress 5 月 16 日)

***** コラム *****

オーガニック野菜農家を支援する日本の NGO

これまで、長期間に渡って、オーガニック野菜を育てるプロジェクトに参加してきた Ben Tre 省 Ba Tri で良い結果が出始めている。生産物を高値で販売することが可能で、高い利益を得ているという。

生産者は、厳しい基準を遵守して野菜を栽培することで、初めて出荷することができる。

■PGS 基準に準拠した栽培

Ben Tre 省 Ba Tri では、多くの農家たちが PGS (Participatory Guarantee System:有機農業の参加型承認制度で、地域に焦点を当てたオーガニックな農産物の品質保証システム) の基準を満たしたオーガニック野菜の生産に取り組んでいる。

日本の「Seed to table」という NGO が指導に当たり、この基準を満たした農産物の生産をサポートしている。

ここでオーガニック野菜を栽培する Ho Thi Hong さんの話では、ホーチミン市内の業者

が、Ba Tri 産のオーガニック野菜を、通常市場で出回っている普通の野菜の 2 倍から 3 倍の値段で買い取ってくれるのだという。

現在、家族で 500m²の畑でオーガニック野菜を栽培しており、毎月平均 600 万ドン（3 万円）の収入を得ることができると彼女は話した。この地域で栽培されたオーガニック野菜は、このように業者に卸すだけでなく、この地域を訪れた観光客向けの食事にも使用されている。

■厳しい基準値をクリアした野菜を

高値で売ることが期待できるオーガニック野菜ではあるが、PGS の基準を守って栽培することは決して簡単ではないと、プロジェクトに参加する農家は話す。

「Seed to table」の指導とサポートの元、オーガニック野菜を栽培するためには、まず土と水のサンプルを品質保証試験センター3（ホーチミン市）に送り、検査を受けなくてはならない。その結果、基準値以上の金属が検出された場合は、このプロジェクトに参加することができない。

続いて、「Seed to table」の指導で、畑の周りを柵で囲い、牧草を植え、無機物の侵入を防ぐ。柵から 1m 離れた場所にも花を植え、害虫が野菜に近づかないようにしなくてはならない。種は、遺伝子組み換えでなく、化学物質が使われていないものだけを使うことが求められる。

野菜が植えられた各畝には、消費者からの問い合わせがあった時に、出所が分かるように番号が振ってある。各畝には、それぞれ異なった野菜が植えられる。キャベツの隣にはツルムラサキ、ヒユナや小松菜の間にはニラが植えられる。これらの植物は強い匂いを発するため、害虫を寄せ付けないのだそうだ。

オーガニック野菜の栽培過程では、化学物質の使用は一切禁止されている。肥料から虫よけに使用するモノまで、全てオーガニックでなくてはならないのだ。

例えば、野菜の肥料には、牛糞や魚、藁、草、キノコから作った堆肥を使用する。堆肥は、3 か月寝かせて初めて使用が認められる。農家は、昔ながらの経験に基づいた知恵を用いて野菜を育てる。それは、卵と砂糖なしの牛乳を混ぜ合わせた液体や籾殻灰を野菜に吹き付けることで、害虫被害を防ぐ、といったようなものだ。

農家の話では、「Seed to table」は、毎週・毎月の点検に加え、6 か月に 1 回、定期的な検査を実施するという。

■オーガニック野菜を広めるために

「Seed to table」は、An Hoa Tay 村でオーガニック野菜の栽培を指導するだけでなく、Ba Tri で 2 つのグループにオーガニック野菜の栽培を指導している。

そのうち、Vinh Hoa グループは、3 つの農家が 2,300m²の畑で、Ba My グループは 5 つの農家が 4,000m²の畑で栽培に取り組んでいる。今後、Mo Cay Nam 県で、オーガニッ

ク野菜農家連盟を立ち上げようと計画中だ。

また、「Seed to table」代表の伊能まゆ氏は、今年中に Ba Tri に堆肥小屋と、野菜の処理を行う施設の建設に投資する予定だと話す。

各農家をサポートするだけでなく、「Seed to table」は Ben Tre 省内の高等学校に出向き、生徒たちにオーガニック野菜の育て方を教えている。

Luong The Vinh 高等学校副校長の Mai Hoang Nhi 氏は、「Seed to table の取り組みは、生徒たちに知識をつけるだけではありません。帰宅後、生徒たちが家族にも、オーガニック野菜の育て方を伝えるきっかけとなるのです」と話す。

学校の畑でオーガニック野菜を栽培する中で、生徒たちは清潔な野菜、オーガニック野菜がどういうものかを理解し、家族にこのやり方を広めていくと、伊能氏は話す。

「オーガニック野菜を育てるのは、決して簡単なことではありません。これまで、おばあちゃんから子どもに引き継がれてきたやり方がありますからね。農家の皆さんが話を聞いてくれないことも良くありますが、子どもたちの言葉には耳を傾けてくれる方が多いんですよ」と、伊能氏は話す。

「Seed to table」の、PGS 基準を満たしたオーガニック野菜栽培プロジェクトは、2012 年に Binh Day 県で始まり、2015 年には Ba Tri 県に広がった。農家は、PGS の基準を満たした野菜の育て方や、その技術に関する教室に参加することができる。

このプロジェクトが終了してからも、Ben Tre 県内外でオーガニック野菜を育てる各農家は、Ben Tre 農業センターに連絡して指導を仰ぐことができると伊能氏は話した。

(Thoi Bao Kinh Te Sai Gon 4 月 11 日,P.28～29)